

# 平成 2 9 年度業務執行報告

[平成 30 年 6 月 1 日 HP 掲載]

## I、法人運営の概要

## II、事業執行の内容

- ・教育目標及び基本姿勢
- ・当該年度の事業概要
- ・事業の目的計画と実施
- ・実施計画の進捗状況等
- ・認定こども園事業
- ・職員研修（園内、園外）
- ・情報発信の状況
- ・表彰等

## III、学校評価について

- ・保護者アンケートの集約内容
- ・学校関係者評価の内容

## IV、財務状況の内容

学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

# 平成29年度・事業報告書

## I 法人の概要

- 1、法人名： 学校法人内丸学園  
 2、理事長： 坂本 洋  
 3、住所： 岩手県盛岡市中央通1丁目6-47  
 電話：019-622-2301 Fax: 019-622-1819

### 4、設置する学校

- 名称： 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園  
 認定こども園（認定月日：平成19年2月27日）  
 類型：・幼稚園型（当初は認可外保育施設併設）  
 ・幼保連携型（平成22年4月1日認定）変更  
 ・ // （平成27年4月1日新制度移行）

備考：22年度から0歳児～2歳児は保育所認可【定員21名】、23年度【定員30名】となる。運営費委託料計上は厚生労働省所管（盛岡市保健福祉部）。平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度により、従来の幼稚園・保育園が単一施設となり、3号子ども定員30人から42人へ変更。また、幼稚園学校教育部分は4学級105人。内訳1号子ども定員45人、2号子ども60人へ変更。 合計：147人の定員変更。

### 5、学級編成と定員並びに実績（認定こども園定員：147名）30年3月1日現

項	5歳児学級	4歳児学級	3歳児学級	計
定員	1学級	1学級	2学級	4学級
	35名	35名	35名	105名
29年度実績	1学級	1学級	2学級	4学級
	29名	33名	30名(満3歳1名含む)	92名
	保育園【0歳～2歳 定員42名】0歳：9, 1歳：17, 2歳：18			44名

計：136名

### 6、認定こども園受入れ実績状況（認定こども園定員：147名）30年3月1日現

入園対象の認定	3～5歳児(満3含)	0～2歳児	計
1号	27名		27名
2号	65名		65名
3号		44名	44名
計	92名	44名	136名

## 7、法人役員・教職員の概要

理事 7名：理事長1名、理事長代行者1名、理事5名

評議員 15名：寄附行為23条(1)4名、23条(2)3名、23条(3)8名

開催内容：理事会6回、評議員会2回、監査：外部2回、法人監事2回 計4回

理事会	① 5月27日、②8月9日、③9月22日、④11月24日、⑤1月20日、⑥3月20日
評議員会	① 5月27日、②1月20日、
監査会	① 5月15日、②5月23日(法人)、③1月17日、④2月28日(法人)

学校関係者評価委員会：年1回(平成30年3月16日) 評価内容は別添のとおり。

苦情解決第三者委員会：年1回(平成30年3月16日) ”

教職員 38名：理事長1名、幼稚園長1名、主幹保育教諭2名、指導保育教諭1名、  
保育教諭10名、保育教諭(非)13名、保育補助(非)1名  
看護師(非)1名、栄養士2名(内1名育休中)、事務職員2名、  
調理員(非)4名

## II 事業執行の概要

### 1、教育目標及び基本姿勢

#### (1) 教育目標

生命力にあふれる子ども達が、愛情と活力と創造に満ちた生活をめざし、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験が得られるよう教育環境を整え、一人ひとりの心情・意欲・態度の発達を養い、基礎的人間性の土台となる、生きる力や心の教育の育成を目標とする。

また、東日本大震災による被害状況が、かつて経験したことのない甚大な被災となり、これまでの危機管理対応を根幹から見直すこととなり、かけがえのない子ども達一人ひとりの命の大切さを改めて教育の根底に据え、安心安全な環境づくりに努めること。

#### (2) めざす子ども像

**園訓：** つねによろこぶべし(いつもにこにこ)

- 健康でたくましい子ども
- よく聞きわかり行動する子ども
- すなおに感じ豊かに表現する子ども
- 心身ともに安定した生活を送れる子ども
- 神と人ともに喜ばれる子ども

#### (3) めざす教師の役割像

- 幼児一人ひとりが、より豊かに遊び、学ぶ生活を過ごせるよう援助する
- 集団生活の中で生きる力、喜びの広がりが育つ環境づくりに配慮する
- 自律と協同の育ちに配慮し、協同的な遊びや学びの環境構成を工夫する
- 総合的な教育と保育の一貫した幼児教育の保育計画づくりに配慮する

#### (4) 教育目標達成のための基本姿勢

- 型にはめない自由な個性の伸長 (個性重視)
- 遊びの十分な保障と充実感 (満足感と承認充足)
- 感性や情緒性豊かな環境づくり (夢のある環境)
- 愛情に満ちた子どもとのかかわり (愛着心の育成)
- 善悪の判断基準の適切な指示 (社会行動規範の明示)

## 2、当該年度の事業概要

運営基本方針に基づき、教育目標の達成に努め個性豊かな教育を実現した。

なお、本年2017年は、米国キリスト教宣教師ミセス・タッピング先生が、1907年、盛岡市に幼稚園(岩手県幼稚園認可第1号)を開設した幼稚園創立110周年の節目に当たり記念行事を行った。

### ◎ (主な行事等)

4月：入園式、始業式、JRC登録式、5月：親子遠足、避難訓練、内科検診、ふたば会総会、タッピングの畑、6月：歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、花の日礼拝、保護者参観、7月：ふたば祭り、七夕、プール遊び、お泊り会、8月：夏休み、9月：運動会、10月：遠足、創立110周年記念式典、祝賀会、タッピングの畑、11月：収穫感謝祭、さつまいもパーティー、トトロランド、保育参観、小学校体験学習 12月：クリスマス礼拝、卒園児クリスマス会、冬休み、1月：鮭の赤ちゃん飼育、2月：保護者参観、新入園児一日入園、3月：お別れ会、修業式、卒業証書授与式 (各月ごとの避難訓練は、それぞれ具体目標を掲げ実施した)

### ◎ (園外イベント参加)

もりおか緑化環境まつり(盛岡城跡公園)、こいのぼり掲揚式(県庁)、食育キャラバン(県庁)、県産りんごキャンペーン、交通安全県民運動、岩手(さしすせそ)調味料イベント

### ◎ 【1号認定・2号認定園児数状況】

3月末在籍：92、卒園者数：29、進級者数：63 (A)

3月末入園申込み数：36、新入園児数：36 (B)

次年度期首数(A+B)：99名

### ◎ 【3号認定園児数状況】

3月末在籍：44、卒園者数：18、進級者数：26 (A)

3月末入園申込み数：16、新入園児数：16 (B)

次年度期首数(A+B)：42名

◎ 幼保連携型認定こども園・盛岡幼稚園：次年度期首合計数：141名

## 3、事業の目的計画と実施

幼児教育の専門性資質向上及び幼児一人ひとりの育ちを保障する保育理念のもとに、ふさわしい教育環境をもって、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験と感動に満ちた教育活動を計画立案し、加えて幼保一体化の認定こども園事業を積

極的に取り入れた運営を実施した。

◎ 本年度は、特に質の豊かな食育・給食提供のため、3号園児への自園給食調理機能の充実を基本とし、1号、2号園児への完全給食提供のため調理員の増員を含め、給食調理室稼働2年目を迎えた食育指導の充実を期した。

◎ また、個別的配慮を要する園児は保護者の強い要請により2名（ダウン症候群児1名、両側感音難聴児1名）の受入れとなり、健常児の中で持てる能力の成長に努めた。

◎ なお、教育課程外の預かり保育（家庭部保育）は、認定こども園事業実施の中で継続して実施している。

◎ 新制度移行の当園の経過は、認定こども園として、平成19年2月27日付けで岩手県第一号の認定。当初は幼稚園型であったが、平成22年4月からは、認可保育園として、0歳児を加え認可保育事業として実施した実績。

平成29年度は、子ども子育て支援新制度のスタート3年目で、改めて幼保連携型認定こども園として、単一施設としての『盛岡幼稚園』を更に前進させた。

◎ 本年度の3号認定児の入園受け入れ実績は、平成29年3月初日在籍45名（0歳児：9名、1歳児：18名、2歳児：18名）と定員を上回る状況であった。年度替わりしても入所要請が続き、30年3月には、昨年同様に在籍数44名（0歳児：9名、1歳児：17名、2歳児：18名）と定員を上回る在籍数で、特に0歳児6名定員のところ9名在籍となった。これは入園許可認定を行う盛岡市福祉行政当局から待機児童解消のための要請によるものである。

#### 4、事業実施計画の進捗状況等

計画された教育・保育活動は、所期の目的を達し、個々人の発達に応じた生きる力や心の教育の育成並びに保育養護の向上に貢献した。

特に教職員の自己点検意識が高まり、客観的に自らの指導計画や子どもに向き合う姿勢並びに教職員集団の力として発揮できる体制が確立されつつある。

なお、東日本大震災を経験し、改めて危機管理対応の見直しを行い、保護者へも伝え共通理解の共有に努めた。

◎ 盛岡幼稚園 教育実施日数：3歳児（193日）、4歳児（195日）5歳児（197日）

◎ 保育実施日数：0歳児～2歳児 288日 3歳児～5歳児 288日

#### 5、認定こども園保育事業（預かり保育）

##### （1）預かり保育推進事業

	満3歳児	3歳	4歳	5歳	計
2号認定児	0	22	22	21	65
1号認定児	1	3	2	1	7

満3歳児から5歳児72名が利用。その内1号認定児は7名。2号認定児は65名で全員標準時間利用児であった。

1号・2号認定児の保育状況は、新制度となり2号児の増加に伴い、満3歳と3歳児、4歳・5歳児各年齢児ごとのグループに分けた日課で実施した。

特に5歳年長児は6月以降の午後保育中の午睡を柔軟に取り入れた保育を行うこととし、幼小接続を意識したアプローチカリキュラムを考慮した処遇活

動。また、早朝と延長保育は異年齢合同保育として行った。

◎ 年間開設日数：教育日数は年長児クラス 197 日の他、土曜日、春・夏・冬休みの実施を入れ 288 日開設した。

◎ 子育て支援事業（トトロハウス）：週 1 回、年間開催回数 30 回、登録者延数 56 組、一回平均参加者数 9 組。 【親子参加、費用無料、前日までに申込み】

(2) 子育て相談事業：相談件数は 78 件（一般：8 件、園児及び子育て支援事業参加者保護者：70 件）と昨年の 75 件に対し微増した。

・相談内容：しつけ・育児が 37 件(47%)、排便排尿が 9 件(11%)、発達・障害 7 件(9%)、登園しぶり 3 件、トラブル・いじめ 4 件、その他 15 件 (19%) 等の内容であった。・相談対応：継続観察 36 件(46%)、助言指導 42 件(54%)、。面談相談が多く継続観察ケースが多くなっている。また一般からの相談は少なく (10%)、在園児や子育て支援事業参加者の相談利用である。

## 6、職員研修について

### (1) 平成 29 年度 園内研修 実施報告

日程	内 容
4.25	・各クラスの様子を伝え合い、共通理解する。 ・4 月保育教諭の配慮や援助について話し合う。
5.23	・理事長講話 『これからの盛岡幼稚園における教育・保育指導について』
6.20	・年間保健計画、年間防災計画の確認と検討、見直し。 ・園内のヒヤリハット事例検討。
7.27	・研修報告 『熱中症予防について』佐々木（は）、永井保育園公開保育（村松）、 『トトロランド 「遊びが学び」を成立させるために』（園長）
8.22	・資料や実践例から、視覚的に子どもの育ちを伝える方法を学ぶ。 『子どもに至る ～保育者主導保育からのビフォー&アフターと同僚性～』より
9.21	・4 月と 9 月の子どもの育ちが見える写真を各担任がまとめる。＜未満児クラス＞ グループに分かれて、事例の検討。
10.24	・4 月と 9 月の子どもの育ちが見える写真を各担任がまとめる。＜以上児クラス＞ グループに分かれて、事例の検討。
11.24	・トトロランドに向けての取り組みの様子と、トトロランド当日の様子、またトトロランドの経験を通して育った姿の検討。
12.26	・研修報告 都南保育園公開保育（佐々木紫）、岩大附属幼稚園公開保育（竹岡、舟越）
1.23	・平成 29 年告示 幼保連携型認定こども園教育・保育要領について（主幹より） 資料を基に確認、検討。
2.20	・盛岡幼稚園全体計画の確認。 ・各学年の「期のねらい」を確認、検討。

3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年『写真で見る年間指導計画（ポートフォリオ）』の作成</li> <li>反省、評価</li> <li>次年度に向けて</li> </ul>
----	--

- 年3回非常勤教諭の研修を実施 ①5月30日、②12月12日、③3月6日
- 毎月一回 職員会議、園内外の環境・遊具の安全点検
- 毎週 指導計画の話し合い、子どもの姿からの話し合い、環境構成、教材研究
- 学期毎にクラス運営の反省・評価の話し合い、行事の取り組みについて話し合い

## (2) H29年度 園外研修実施状況

◎特別支援に関する研修会 □保幼小連携に関する研修会 ○その他

日程	研修会（主催者）	研修内容
4.9	◎子どもの発達支援講演会 (岩手県立療育センター)	・講義「発達が気になる子どもの理解と支援」
4.27	○岩手県保育指導者セミナー	・情勢報告 ・講演「地域で今必要とされている子育て支援」
5.13	○岩手県私立幼稚園連合会 盛岡地区教員研修会 (岩手県私立幼稚園連合会)	・総会 ・研究分科会
5.13	○平成29年度保育研究大会 盛岡大会	・研究発表
5.31 ～6.1	○幼稚園等初任者研修講座「センター研修Ⅰ」 (岩手県教育委員会)	・講義「幼稚園等初任者に望むこと」 ・演習「指導計画作成の基本」「保育に生かす絵本と手遊び」等
6.9	○給食従事者研修会	・講演「岩手県における減塩・適塩の取り組み」
6.12	○岩手県健康セミナー	・講演「熱中症対策」
6.23	○東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会秋田大会	・記念講演 ・分科会「質の高い教育・保育を求めて」
6.24	◎いわて小児発達障がい研究会	・講演「発達障がいとメディア」
6.24	○私立保育園新任職員研修	・講演「社会人として保育士として」
7.1	○保育所協議会 教養講座	・講演「子ども達と保育士の愛着関係について」
7.7	○盛岡市保育所協議会公開 永井保育園	・公開保育「楽しみだね 夏祭り」
7.24 ～ 7.26	◎□幼稚園等中堅教諭等資質向上研修講座	・講演「幼稚園等中堅教諭等に望むこと」 「特別な支援を必要とする幼児の理解と支援のあり方」等
7.27	○盛岡市教育研究所 第1回公開講座 (盛岡市教育委員会 教育研究所)	・講座「盛岡の先人講座」 ・講座「保護者と連携して進める幼保小接続期の教育講座」
7.31	○岩手県私立幼稚園認定こども園連合会新任教諭研修会	・講演「新任教諭を取り巻く環境の変化について」 ・実技「新聞紙で遊ぼう」等

8.4	○岩手県園長等運営管理協議会	・講演「幼稚園教育要領等の改訂による保育の実際について」等
8.7	○平成 29 年度岩手県私立幼稚園連合会 第 1 回教員研修会	・講演「H 3 0 年改訂における 0, 1, 2 歳児の位置づけについて」 「教育課程の改訂で大切にしたいこと」
8.8～ 8.10	○幼稚園等初任者研修講座「センター研修 I」 (岩手県教育委員会)	・講義「充実した園生活のための環境構成と援助の在り方」 ・岩大附属幼の見学と演習 等
8.20	◎岩手県療育センター発達支援研修会	・講義「発達と遊び」 「発音が気になる子のチェックポイントと対応」
8.25	○第 1 回経営セミナー (岩手県私立幼稚園連合会)	・養成校との懇談会 ・処遇改善についての講話 等
8.30	○盛岡市保育所協議会公開保育 緑が丘ひまわり保育園	・公開保育 「わっしょい！わくわく♪笑顔の花咲くひまわりまつり！」
9.1～ 2	○東北地区私立幼稚園教員研修大会 宮城大会	・公開保育 ・記念講演「子育て・子育ての基本について考える」
9.24	○いわてアレルギーの会	・講義「食物アレルギー症状と緊急対応」
9.28	○盛岡市保育所協議会研修	・講義・実践「保育にアートを」
10.7	◎いわて特別支援教育講演会 (岩手県教育委員会)	・講義「ちょっと気になる行動の理解とその支援の実際」
10. 12	○都南保育園公開保育 (盛岡市保育所協議会)	・公開保育 テーマ「廃材を使って遊ぼう」
10. 14	○岩手大学教育学部附属幼稚園公開	・公開保育「豊かな遊びを育む」 ・講演「幼稚園教育要領の改訂の論点」
10. 14	○一関修紅短期大学附属認定こども園	・公開保育「豊かな遊びをはぐくむ環境」 ・講演「笑いは心のエネルギー！」
10.5 ～ 27	○幼稚園等初任者研修講座「センター研修 I」 (岩手県教育委員会)	・講義「指導要録の概要・記載の実際」 ・保育参観 ・実践発表 等
10. 31	○感染症集団発生予防研修会 (盛岡市保健所)	・講義「施設内感染症対策」 ・演習「備えよう！冬場の感染症」
10. 31	○第二回小児食物アレルギー研修会 (盛岡市医師会)	・講演「食物アレルギー児への対応と生活管理指導表」
11.12	◎第 1 回発達障がい対応力向上研修 (岩手県医師会)	・講演「発達障がい者の支援について」等
11.9	○盛岡市保育所協議会 研修	・講演「乳児から幼児まで楽しめるわらべ歌あそび」
11.17	○盛岡市保育所協議会 研修	・講演「ことばの発達が遅い幼児への支援について」



12.27	○盛岡市教育研究所 第二回公開講座 (盛岡市教育委員会 教育研究所)	・講座「原敬講座」 ・講座「ティーチャーズ・トレーニング講座」
1.11～12	○岩手県私立幼稚園連合会総合研修会	・講演「乳幼児期の子どもを伸ばす脳教育の新常識」 ・実技「遊びの中での運動」 等
2.2	□保・幼・小交流研修会	・説明、協議、交流
毎月	○盛岡地区教員研究会	・分科会研修 4班『遊びの意味と育ちへのつながり』 5班『協同的な遊びと学びの実践』
毎月	○盛岡幼児研究会	・公立・私立幼稚園共同研究会

## 7、情報の発信の状況（公表・公開）

(1) 園報の発行：年4回発行。発行部数240部。法人及び園内情報。

送付先は、保護者（110部）、同窓生、関係機関他（130部）

(2) そのほかの情報発信

幼稚園便り(全世帯)：12回（毎月1回発行）、臨時便：40回 計52回

保育部便り(0・1・2歳児世帯)：12回（毎月1回発行）

学年便り：年長児クラス16回、年中児クラス10回、年少児クラス9回

給食便り(毎月)、ほけん便り：年12回

(3) ホームページ：幼稚園の沿革及び業務内容の紹介。新制度に伴い全面変更。

園児活動状況の随時紹介（にこにこ園日記45回発行）は好評。

また、業務執行・年度状況の報告（財務状況を含む）を公表。

アドレス：<http://www.1907-mkg.com/>

(4) インターネットおたより（岩手県立大学ソフトウェア情報学部共同プロジェクトで実施）

多様化する保護者ニーズに対応するため、従来発行している「園・クラスたより」や「個人連絡帳」の中間的なおたよりとして活用。回数：20回発行。

（平成22年4月からは、岩手県私立幼稚園連合会のポータルサイトとして登録され、岩手県内の私立幼稚園情報サイトとして公開されている。）

## 8、表彰等

(1) 表彰 日本赤十字社より、加盟継続活動・10年表彰授与。

(2) 感謝状 日本赤十字社 岩手県支部より、多年にわたる赤十字社事業の進展に貢献。平成29年11月13日。

(3) 表彰 幼年消防クラブ 日本防火・防災協会より、火災予防の積極的な活動による表彰。

自治体消防70周年記念大会。平成30年3月7日。

### Ⅲ 学校評価について

平成 19 年 6 月に学校教育法、同年 10 月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表に関する規定が新たに設けられました。

当園では、教職員による業務の自己点検・自己評価は、平成 20 年度から公表しております。

特に本年度は、当園事業の内容を保護者意向調査による集約を評価としてまとめたく、別添の保護者アンケートを実施しましたので概要を公表します。

また、昨年度から新制度によって単一施設となりましたので、従来の幼稚園のみに設置されていまして『学校関係者評価委員会』、及び保育園にのみ設置されていまして『苦情解決第三者委員会』は、単一施設として設置し、本年は 30 年 3 月 16 日に、学校関係者評価委員会と苦情解決第三者委員会と合同で報告会を開催し、今年度の園の運営について説明し、評価して頂きました。

#### 1、平成 29 年度保護者アンケートの集約と分析

本年度は、就園児の保護者全員に対し当園運営への意向調査を実施し、学校評価の一助として今後の運営に反映させることにしました。

○調査期間 平成 29 年 12 月 1 日～12 月 14 日

○対象者 就園児保護者全員

○回答は無記名。回答数は保育部が 30 名、幼稚園部が 74 名、合計 104 名。

回答率は保育部が 69.8%。幼稚園部が 80.4%、全体で 77.0%。

○自由記述欄の回答については、同じような意見のものを主に紹介する。

○集計は、保育部と幼稚部それぞれを主幹が集約、全体の集計分析は園長が行う。

○集計結果と分析等は、職員、保護者、理事会・評議員会、第三者評価委員会に報告する。改善を要する事項については運営委員会で検討し、これからの運営に反映させる。

アンケート内容と集約及び分析

問 1 お子さんは何歳クラスですか。該当に○をしてください。

項	ふたば	つぼみ	いちご	Cクラス	Bクラス	Aクラス	計
回答数	4	11	15	23	28	23	104名
園児数	7	18	18	29	34	29	135

#### 1 教育・保育について

問 2 お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんで（楽しみにして）いますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

ふたば			つぼみ			いちご			Cクラス			Bクラス			Aクラス			計		
1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
4			10		1	15			19		4	24		4	21		2	93		11

問 3 盛岡幼稚園での教育保育活動でよいと思われることはなんですか。（該当全て）

項	給食	好きな遊び	外遊びや散歩	お祈り	読み聞かせ	お絵かきや作品作り	観察園での栽培活動	えいごであそぼ	ダンス	ホールでの遊び	その他

3歳未満	計	28	19	30	10	21	22	16	11	13	15	2
	%	93.3	63.3	100	33.3	70.0	73.3	53.3	36.7	43.3	50.0	6.7
3歳以上	計	54	52	51	45	50	55	47	56	52	42	2
	%	73.0	70.3	68.9	60.8	67.6	74.3	63.5	75.7	70.3	56.8	2.7
合計		82	71	81	55	71	77	63	67	65	57	4

問4 盛岡幼稚園での行事でよいと思われるのはなんですか(該当全て)

項		花の日 礼拝	収穫感 謝祭	親子遠 足	歩き遠 足	誕生会	運動会	保育参 観	保護者 面談	ふたば まつり	その他
3歳未満	計	18	22	12	12	28	26	22	20	16	
	%	60.0	73.3	40.0	40.0	93.3	86.7	73.3	66.7	53.3	
3歳以上	計	42	55	55	56	52	61	44	36	42	3
	%	56.8	74.3	74.3	75.7	70.3	82.4	59.5	48.6	56.8	
計		60	77	67	68	80	87	66	56	58	3

- ・問2で、約9割の子は幼稚園に行くことを楽しみにして登園している。「いいえ」の回答はなかった。
- ・問3及び問4は、幼稚園部の保育活動や行事で保育部では行っていないものがあるので、集計は別々にした。
- ・低い値を示したのは、活動で「お祈り」と「ホールでの遊び」、行事で「花の日礼拝」「保護者面談」であった。これらについては、今後活動や行事の意義を伝えながら活動に工夫を加えていきたい。
- ・問5活動や行事でもう少し充実してほしいことをたずねたら、保育参観の持ち方について多くの意見をいただいた。これについては、園全体として考えていかなければならない。

## 2 職員・保育教諭について

問6 職員・保育教諭は、笑顔と適切な言葉づかいでの対応に努めていますがいかがですか。

項	ア、満足	イ、やや満足	ウ、普通	エ、やや不満	オ、不満
計	79	17	9		
割合%	75.2	16.2	8.6		

問7 保護者と職員・保育教諭とのコミュニケーションはうまくいっていますか。

項	ア、満足	イ、やや満足	ウ、普通	エ、やや不満	オ、不満
計	64	23	14	4	
割合%	61.0	21.9	13.3	3.8	

- ・問6で、約9割の方が職員の対応に関して「満足・やや満足」と答え、「やや不満・不満」はいなかった。問7は職員とのコミュニケーションについてであるが、約8割の方が「満足・やや満足」と答えている。数は少ないとはいえ「やや不満」の回答も見られる。
- ・問8で職員の対応で感心したこと、うれしかったことを尋ねたら、保育部は24人、幼稚園部は45人の方から回答があり、そのすべてを紹介できないので主な指摘を紹介する。
- ・保育部では、子どもの成長について話していただいたこと、保護者の質問や相談に真摯に対応していただいたこと、明るくあいさつで出迎えてくれることを複数の方があげている。
- ・幼稚園部では、担任以外の職員も子供を理解し、対応していただいていること、子どもの出来事を知らせてくれること、相談に乗っていただけるとなどがあげられている。

- ・問9で職員の対応でもう少し配慮していただきたいことを回答して頂いたら、保育部2名、幼稚園部13名の方から回答をいただいたが、そのうち保育部1名、幼稚園部2名の方は、特にありません。いつも感謝していますとの記入であったので、実質は13名であった。子どものその日のことを教えてほしい、小さな怪我でも教えてほしいとの回答が複数あった。このことは、問8でうれしいことの一つとしてあげられているが、まだ十分でない判断され、努力が必要である。

### 3 給食について

問10 毎日の給食の内容はいかがですか。

項	ア、満足	イ、やや満足	ウ、普通	エ、やや不満	オ、不満
計	74	14	7	6	

- ・問10では、9割弱の方が「満足・やや満足」と回答していただいた。
- ・問11で「やや不満」の理由は、保育部1名、幼稚園部10名の方から回答していただいた。
- ・子どもの年齢にもよりますが「量が少ないのでは」との回答がAクラスに、幼稚園部も試食を試みたいとの要望も複数あった。

### 4 ご家庭と幼稚園との連携について

問12 連絡帳や送迎時の保育教諭との会話などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報の交換ができますか。

項	ア、満足	イ、やや満足	ウ、普通	エ、やや不満	オ、不満
計	49	19	27	7	1

問13 幼稚園やクラスの様子などについて、「園だより」や「クラスだより」、「WEB」などを通じて、お知らせしていますが、それに対する満足度はいかがですか。

項	ア、満足	イ、やや満足	ウ、普通	エ、やや不満	オ、不満
計	52	26	25	1	1

- ・問12で園と家庭との情報交換を尋ねたら、約66%の方が「満足・やや満足」と回答している。「やや不満」の方は保育部には少なく、幼稚園部に6名見られた。保育部には毎日の連絡帳がありますのでそれが反映していると思われる。
- ・問13は、園だよりやクラスだより、webに関してですが、約74%の方が「満足・やや満足」と回答している。
- ・問14でそれらの感想を尋ねたら、保育部で8名、幼稚園部で17名から回答していただいた。Webに関してはアクセスが面倒との複数回答があった。

### 5 子育てについて

問15 子育てについて、どのように感じていますか。

項	ア、非常に楽しい	イ、楽しい	ウ、負担である	エ、非常に負担である
計	40	64	2	

問16 当園では子育て相談の対応にも努めていますがいかがですか。

項	ア、満足	イ、やや満足	ウ、普通	エ、やや不満	オ、不満
計	43	19	37	2	

- ・問 15 で、98%の方が子育ては「非常に楽しい、楽しい」と回答している。
- ・問 16 で、61%が「満足・やや満足」と回答しているものの、問 17 で子育て相談が周知されていないのではとの意見も見られる。

### その他の意見や感想

- ・保育部では、10名、幼稚園部で32名の方から記入していただいた。
- ・同じような意見の複数回答は、問 5、問 8、問 9、問 14 の自由記述で紹介したことが挙げられていた。

### まとめ

- ・約 9 割の子どもたちは幼稚園に登園することを楽しみにし、職員の対応にも約 9 割の保護者がプラスの評価で回答していただいた。このことは日ごろの職員の努力が認められたものと判断したい。
- ・保育参観の持ち方等課題が指摘されたので、今後職員間で検討していきたい。
- ・職員の対応でうれしかったことを尋ねたら、多くの方（69 人）から回答していただいた。これは、問 5 や問 9 などの自由記述の回答で最も多く、内容も職員の励みになるものであった。
- ・子育てで「負担」「やや不満」との回答も少ないもののみられた。些細な事でもよろしいので、相談していただきたい。
- ・自由記述形式の回答では、多くの感想や意見が寄せられた。すべてを紹介できなかったが職員間では一つ一つに目を通し、日ごろの保育活動に生かしていきたい。アンケートへの保護者のご協力に感謝します。

## 2、学校関係者評価委員会並びに苦情解決第三者委員会への報告に対する各委員からの評価概要（学校関係者評価委員並びに苦情解決第三者委員合同協議会）

(1) 期 日 平成 30 年 3 月 16 日（金） 午後 5 時半～

(2) 出席者

「学校関係者評価委員」 保護者代表 2 名、 学校評議員代表 2 名  
学識経験者代表 1 名、 地域住民代表 1 名

「苦情解決第三者委員」 学識経験者 2 名

「内丸学園盛岡幼稚園」 理事長、園長、主幹保育教諭 2 名

(3) 協議会次第

ア、開 会 イ、理事長挨拶

ウ、報 告 ・平成 29 年度幼稚園の基本方針

- ・平成 29 年度事業報告 ・一年間の様子パワーポイント
- ・子育て相談集計結果 ・ヒヤリハット集計結果
- ・園内における事故についてのまとめ
- ・保護者アンケート集計結果の考察と対策

(4) 出席者からの評価（主な意見及び感想等）

**A氏**・幼稚園の生活の楽しさが伝わってきた。また園での生活の中で子ども達は、豊富な経験をしていることを感じた。良い雰囲気保育が行われている。

**B氏**・職員が各種の研修に参加していることが、研修一覧で良くわかるし、多方面で様々な研修が開催され参加している。当園においては充実した保育につ

ながっていくのではないかと思った。大変だと思うが継続してほしい。

・午後からの保育指導（家庭部）で、各年齢別の保育指導の中で、特に年長組の活動の中に、文字や数字、ゲームなど、就学前の準備をしてもらっていることに感謝している。・幼稚園年長児で就学前の教育を意識してやっているのはとてもいいことである。

**C氏**・ヒヤリハット記録の大切さを感じた。この記録は保護者にも公表し日頃の子育てに活かしてもらいたい。記録を採ることで指導上の留意点が見えるのではないかと思われた。

**D氏**・110周年の諸行事に参加したが、一つの節目として大事なことで参加した子ども達の生き生きした表情がとても印象に残ったし感動した。式典や運動会でも各年齢に合った参加の仕方、表現活動であったと感心した。

**E氏**・職員研修の実施一覧を見て、先生方の保育・教育への意識の高さに感心する。・園内研修も時間がない中で工夫して取り組んでいることが良くわかりました。・苦情がないというのは必ずしもいいことではない。悩みを積極的に出せるような関係も必要と思われる。その意味で本年の保護者アンケートの実施は時宜を得ていると思われる。気軽に話し合えるコミュニケーションが大切。

**F氏**・食育の在り方をここ数年取り組んでいるようですが、どのようなことをしているか。**園長**：基本的に給食提供を中心に栄養士が担当して、年間計画を立て、それを基に学年ごとに年数回数食べ物の大切さ、栄養のバランスなどのお話しをしている。また、季節行事等の場合はホールに集まりお話をすることがある。（例えば、ひな祭りの献立の意味など）。毎月給食便りを発行し保護者へ配布している。また保護者への給食試食会を実施し感想を頂いた。

**G氏**・苦情が全くないことががよい園ではない。苦情でなくても、要望を拾い上げていくことが大切ではないか。小さいことでも出されたものは、保護者の意見、要望として受け止めて今後の運営に活かしていくことが大事だと思う。

・保護者アンケートは、とても良いことでまとめて報告頂いたことに感謝。

上記のほかに、避難訓練や災害時の避難経路や対応状況の質問があった。

**園長**：本年度は、傾向的に2号認定園児が多くなり、働く親御さんの声をもっと聴く機会を感じている。また、災害予防、緊急避難訓練等もマニュアルに従い計画的に実施してお預かりする子ども達の安心安全の確保に留意してます。

・委員の皆様方からそれぞれ感想やご意見を頂きありがとうございました。今後の運営に活かしていきたいと存じます。・今年度は110周年記念事業を年間を通して行いました。式典や祝賀会には認定こども園になったこともあり、幼稚園関係者だけでなく保育園関係者にも参加頂き新しい流れを感じました。

・30年度は、新教育・保育要領が実施になります。それに対応した実践を進めなければなりません。また今年度は各学年とも「写真で見る年間指導計画を作成しました。各学年の教育課程を保護者が見てわかるよう編集したものです。

**理事長**：本委員会は、当園の業務内容、自己評価等の客観性、透明性を高めることと同時に家庭、地域の皆様が運営の現状を理解して頂き、連携して教育活動の改善を行い、子ども達の最善の利益を保障することが目的です。ご繁忙の中にご出席賜り貴重なご意見を頂戴したことを感謝申し上げます。

#### IV 財務の内容（平成 29 年度）

##### ・ 資金収支計算書

収入の部		
科 目	平成 28 年度	平成 29 年度
学生生徒等納付金収入	39,202,127 円	38,802,597 円
手数料・寄付金収入	251,540 〃	296,552 〃
補助金収入	113,798,670 〃	107,753,920 〃
付随事業・収益事業収入	2,098,658 〃	2,982,307 〃
受取利息・配当金収入	35,184 〃	12,457 〃
雑収入	1,643,700 〃	15,147,250 〃
その他収入(前受、未収金・預り金)	61,252,235 〃	25,627,031 〃
資金収入調整勘定	△6,821,340 〃	△21,527,370 〃
前年度繰越支払資金	43,150,937 〃	59,719,277 〃
<b>収入の部合計</b>	<b>254,611,711 円</b>	<b>228,814,021 円</b>
支出の部		
人件費支出	88,101,033 円	113,383,514 円
教育管理経費支出	25,422,679 〃	27,954,456 〃
借入金等返済・利息支出	0 〃	0 〃
施設・設備関係支出	34,467,735 〃	1,257,998 〃
その他支出(資産運用・預り金・前払)	47,389,947 〃	30,285,176 〃
資金支出調整勘定	△488,960 〃	△12,170,430 〃
翌年度繰越支払資金	59,719,277 〃	68,103,307 〃
<b>支出の部合計</b>	<b>254,611,711 円</b>	<b>228,814,021 円</b>

##### ・ 貸借対照表

資産の部		
固定資産	363,127,295 円	364,480,227 円
流動資産	66,856,587 〃	89,891,627 〃
<b>資産の部合計</b>	<b>429,983,882 円</b>	<b>454,371,854 円</b>
負債の部		
固定負債	3,800,000 円	3,250,000 円
流動負債	461,476 〃	12,301,130 〃
<b>負債の部合計</b>	<b>4,261,476 円</b>	<b>15,551,130 円</b>
基本金の部		
<b>基本金の部合計</b>	<b>287,465,324 円</b>	<b>285,642,910 円</b>
消費収支差額の部		
翌年度繰越消費収入超過額	138,257,082 円	153,177,814 円
負債, 基本金, 消費収支差額の 部合計	<b>429,983,882 円</b>	<b>454,371,854 円</b>

【注】 ・重要な会計方針の変更、該当事項なし。 ・減価償却額の累計額の合計： 118,575,494 円

・本年度、創立 110 周年記念事業を実施した